

平野中だより

令和7年1月8日

<学校教育目標> ともに 学び 挑み 夢を語る生徒

【合言葉】～ かがやきサイクルでレッツチャレンジ!～

蓮田市立平野中学校 TEL 048-766-9003

ホームページ <http://hiranojhs.o.oo7.jp>

Eメール j-hirano.hasuda@nifty.com

心のホット相談室 TEL&FAX 766-9393



視点を変えると見えるもの

～超高速で動き続ける私たち～

校長

新年あけましておめでとうございます！本年もどうぞよろしくお願いいたします。
2025年の1月1日を迎え、新年がスタートしたのはつい先日のことなのですが、1月8日の始業式を迎えた時点で、すでに1年間の50分の1ほどが終わっています。翌日の9日が過ぎると、40分の1くらい終わることになります。その3日後の12日が過ぎると、およそ30分の1が終わってしまいます。なんだか早い気がしませんか？ そんな風に考える人はあまりいないかもしれませんが、私は時々、物事をちょっと視点を変えて見てみたり、俯瞰（ふかん）してみたりすることがあります。俯瞰とは、広い視野で物事を見たり考えたりすることです。そうすると、新しい発見があったり、今までとは違った考えにたどり着いたりすることがあります。

例えば、私たちが時間の流れを感じる現象の一つに太陽の動きがあります。正確には地球が動いているのですが、何もせずにはぼーっとしていても日が暮れて、また夜が明けます。地球が1日（24時間も）かけて、ゆっくりと回っている感じがしますが、私はある時、本当にゆっくりなのか、その速さを計算してみたくなりました。

今までに習った理科や社会・数学の知識を活用し、地球の外周4万kmを24時間で割ると、なんと時速は1,600km/h以上！日本付近の緯度（35度で計算して一周約3万3千km）でも、およそ1,400km/hで私たちは東に向かって動いていることがわかりました。それは新幹線の5倍ほどの速さで、音速よりも速いことになります。驚きですね！周りの建物や空気も一緒に動いているから感じないだけなのです。

ついでに、地球の公転の速さも計算してみました。太陽までの距離が（軌道は楕円ですが平均で）およそ1億5千万kmなので、1周が約9億4千万km。それを365日と24時間で割ると、時速およそ10万7千km/h！秒速にすると約30km/sでした。1秒で平野中から東京都内まで行けてしまう速さです。

つまり、私たちは時速1,400km/hで回転しながら10万7千km/hの速さで動いているのです。（銀河系の中での太陽系の動きまで考えるときりがないのでやめます。）

私はそんなことを考えていると、止められない時間をもっと大切に過ごさなければいけないな…と思えてきます。また、宇宙レベルで見たら自分の悩みはなんてちっぽけなんだろう…と思えたりもします。

パリ五輪体操男子団体総合金メダリストの橋本大輝選手は、今年の漢字を「一」と答えました。「一番」心を動かせる演技で“世界一”を取りたい。そのために“一日一日”が大切になる」と。

私も、“一人一人”の生徒のことを常に考えながら、“一日一日”を大切にしていきたいと思います。

